

特別企画



理事長あいさつと今年の抱負

Message from JEMEA President and this year's resolutions

上智大学工学部物質生命理工学科 堀越 智

Sophia University, Faculty of Science and Technology

Satoshi Horikoshi

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1

e-mail: horikosi@sophia.ac.jp

本稿の執筆依頼を受け、理事長に就任した1年前のことを思い出してみました。理事長に就任後、多くの会員の元へお伺いし、対面で JEMEA に対する要望をお聞きすることができました。学会に対して多くの期待と、一方で問題もあることのお話をいただき、これらを反映改善できるように理事会一丸となって議論を重ねてきた1年間でした。このような試みの中で、最も大きな理事会の活動成果は、JEMEA 正会員（団体）の勧誘、すなわち『企業会員の増加』が挙げられます。

ここ数年の間で、多くの企業が JEMEA の企業会員から退会されてしまいました。コロナ禍であったということから、学会での営業活動ができないことも退会理由と考えられますが、それ以外にも要因があるようです。その大きな理由の一つに、働き方改革のもとで企業の効率化が進み、価値が低いものへの支出が削られていることが挙げられます。すなわち、企業会員からすると、JEMEA に企業会員として加わることは、ビジネスにおいて「価値」が低いということになります。



武蔵野群馬フローゼンファクトリー（株式会社武蔵野）への工場見学の様子

そこで、団体会員の増強を行うために積極的な勧誘と企業会員としてのアドバンテージを設けることにしました。その一環として、定期的なミーティングと無料の見学会やビジネスミーティングを開催することを実行しています。

第1回目の見学会の試みとしまして、武蔵野群馬フローゼンファクトリー（株式会社武蔵野）への工場見学と、ビジネスミーティングを開催しました。工場の衛生管理の関係で限定8名までの参加と限定されましたが、普段決して見ることのできない最新施設や、充実した話し合いも行うことができ団体会員の皆様にも十分に満足をいただけたものと思われれます。こういった試みもあり、新規の企業会員は1年で8社増え、「企業離れが当たり前」と言われている学協会の中にあって、JEMEAはビジネスの価値がある学会に変化しています。

このように、会員の声を聞き、時代に合わせた内容を運営するために、毎月1回は理事会を行うようにし、全理事が協力して『会員のために、会員とともに』、令和の時代にあった学会運営を目指すべく議論を重ねています。自分の理事長としての、ファーストシーズンが終わり、セカンドシーズンでは、学術への積極的なサービスや質の向上を目指すべく計画を練っています。今後とも、会員の皆様のために、理事一丸となって、価値のある企画や試みを進めたいと思います。